

## 科 目 名

# 教 職 概 論

## Introductory School Education

1年 後期 2単位

原 田 榮 作

### 概 要

21世紀を迎え、国際化・情報化・技術革新が進展する中で、教育の在り方も大きく変わろうとしている。学校週5日制、総合的な学習の時間の創設などにより「ゆとり教育」が打ち出された。ところが、その「ゆとり教育」も学力の低下から見直されようとしている。そのような中で教職を目指す学生にとって以後の教職科目の履修が円滑に進められるための入門講座として位置づける。

### 目 標

教職を目指す学生に対し、教師とはどのような職業か、教職の意義はいかなるものかについて考える。また、教師に求められる資質について理解を深め、教師の使命感などについて学ぶ。授業はテキストに沿った講義が中心となる。

### 授業計画

テ ー マ	内 容
1 教職の意義	(1) 教職とは何か (2) 教職の意義
2 教育観と理想の教師像	(1) 日本の伝統的な教師像 (2) 教職観の変遷からみた理想の教師 (3) 学習者にとっての理想の教師
3 教師と教員養成の歴史	(1) 戦前・戦後の教員養成制度 (2) 教員養成の現状
4 教師の役割と仕事	(1) 教師の法的役割と役割意識 (2) 学習指導要領の意味とその変遷 (3) 教師の仕事の特質と内容 (4) 教師の仕事の実際
5 教師の資質向上と研修	(1) 教師の資質・能力 (2) 教師の力量形成と研修制度 (3) 教師の職能成長と研修

### 授業方法

各時限ともテキストを中心に講義・質問を行い、教職の意義について理解を深める。

### 評価方法

- (1) 定期試験、各時限実施のレポート（600字）を総合して判定する。
- (2) 定期試験50点、レポート50点（出席点を含む）の合計100点で評価する。

### 教 材

教育時事を初め教育界の情報、参考文献等は、その都度紹介する。

### 履修上の注意

- (1) 授業開始後20分は、意識調査・前時間の復習を兼ねてレポートの時間となるので、遅刻をすれば評価が不利になる。
- (2) 意識調査等を随時行い、学生の教職に対する考えを把握して講義を進める。